

# 富士北麓地域の2050 グランドデザイン

山梨県では、“観光産業”を軸に、2050年に向けて富士北麓地域のグランドデザインを検討します。富士山とともにどんな未来にしていきたいか、みなさんのアイデアを募集します！

## 意見を 聞かせて

### （地域に与える影響）

何が北麓の観光産業を発展させてきたのだろうか？

例：富士山との関係、交通機関の変化、ヒト

### （インフラ）

どんなインフラ（公共交通・エネルギー・通信・施設など）が必要だろうか？ リニアの開業を生かすにはどうしたらいいだろうか？

### （価値観）

「自然環境を守る」「経済の持続可能性」両立するビジネスモデルを作れるだろうか？

例：宿泊・飲食業でのエネルギー自給率UP、域内調達UP、地消地産

### （足りないもの）

今、この地域に不足していることはなんだろうか？ ヒト？ 知恵？ 富士山を守るためのお金？

### （持続可能性）

一部ではオーバーツーリズムにより、大量のゴミが発生しポイ捨ても。敷地侵入、道路はみ出し写真撮影などマナー違反には警備員や交通整理員の配置が必要に。

環境に負荷がかかり、お金もかかるのが現状。来訪者の分を地元が負担するのって当たり前？

### （富士山）

富士山観光のあり方は、今の姿でいいのだろうか？

### （ビジネスモデル）

もっと多くの若者や女性が、この地域の観光業で働きたいと思うようになるには、どうしたらいいと思う？

### （テクノロジー）

観光業を支える便利なテクノロジーは、何だろうか？

### （2050年への思い）

今抱えている課題を踏まえて、2050年にどのような地域であってほしい？



## 富士北麓地域の2050年ビジョン（テーマ：観光業）

富士北麓地域は、富士山の麓に位置し、国内外に広く知られる名高い観光地としての歴史を歩んでいます。

持続的に発展し続け、世界に誇る観光地であるために、この地域や観光業はどんな方向に進めばよいのでしょうか。

答えを出すには、長期的な視点が必要です。

そのため、2050年の姿を考えることから始めることにしました。みんなで共通の絵を描きませんか。

問い合わせ先

山梨県 知事政策局 富士山保全・観光エコシステム推進グループ

〒400-8501 山梨県甲府市丸の内1-6-1

電話：055-223-1330 FAX：055-223-1438

# 富士北麓地域の観光産業とは？

富士北麓地域は、寒冷高原地で火山性土壌という厳しい自然条件により農作物の育成が困難な中、本来は禁足地だった富士山の恩恵により、古くから観光産業で発展してきました。では、誰にどんな魅力や価値を提供してきたのでしょうか。

## 観光産業の始まり

9世紀の噴火を機に、河口浅間神社に富士山の登拝者が集まり始めました。また、江戸時代に盛んになった富士講による登拝者を上吉田の御師が迎え入れました。旅は一部の人に限られ、徒歩による登拝は信仰に基づく厳格なものでした。このように、登拝者に信仰の場を提供する一大聖地として、街が賑わい始めました。



## 明治～昭和



明治から大正にかけて、馬車鉄道や中央線、東海道線が整備され、アクセスが容易になり、レジャーとしての富士登山が広まりました。富士五湖観光の開発も始まりましたが、当時の経済状況から、対象は避暑目的の外国人や富裕層に限られていました。



写真提供：やまなし観光推進機構

昭和初期には、富士山麓電気鉄道（後の富士急行線）が整備され、富士登山や富士五湖の自然を目的とする観光客が増えました。また、マイカーが普及し高速道路が整備され、人気の観光地になりましたが、自然環境への負荷も大きくなりました。

このように、都市化した首都圏の住民にとって、自然環境が豊かでアクセスがしやすいことが大きな魅力となり、観光業が地域経済を支える中心的な産業になりました。

## 現代



写真提供：やまなし観光推進機構



富士山や湖、森林を活かした体験が、引き続き大きな魅力となっています。例えば、山中湖畔は、別荘やリゾートマンションのほか、豊かな自然環境の中でスポーツ合宿を受け入れる民宿が増え、滞在型の観光地となっています。河口湖畔では、自然を感じることのできる音楽ホールや美術館などを作り、文化によるまちづくりを進めています。

また、富士吉田で御師の文化を守ろうとする動きが広がるなど、富士山と結びついた地域の歴史や景観が、国内外の観光客に独自の価値を提供しています。

2013年には「富士山-信仰の対象と芸術の源泉」として世界文化遺産に登録され、人類共通の遺産を、国際的に協力しあって保護・保全していく対象となりました。



写真提供：富士五湖観光連盟

こうして、富士山と共に発展してきた観光産業は、地域の経済と雇用、暮らしや文化を支えてきましたが、オーバーツーリズムが住民生活に深刻な影響を与えています。